

05/15・北朝鮮が新型ミサイル「成功」 高度2000キロ 大型核弾頭の装着可能

金正恩氏「米国が正しい選択をするまで」 韓国融和路線に冷や水

- ・独地方選 メルケル与党最大州制す 首相続投へ弾み
欧州株、資金流入最大に 政治リスク後退や割安感から

05/16・「一带一路」会議閉幕 中国経済圏へ一歩 周辺国消えぬ警戒感 < 1 > < 2 >

習氏、党大会控え権力誇示 投資の本気度測りきれず、透明性求める声も

- ・中国、消費・投資が減速 4月 金融引き締め景気に影
- ・トランプ大統領、機密漏洩か 「イスラム国」関連ロシアに
- ・独仏首脳会談、ユーロ圏改革で協力 失業者対策や貿易

05/18・ドル下落 大統領選前水準 対主要6通貨 トランプ氏に不安

NY株一時290ドル近く下げ リスク回避マネー米国債買いで米金利低下

- ・ロシア疑惑で特別検察官 米司法省、元FBI長官を任命
米政局混乱で円高 NY株372ドル下げ 日経平均、一時350円超安
- ・GDP実質2.2%増 (1-3月、年率) 輸出好調、消費も寄与 < 3 >
続く成長 届かぬ脱デフレ 賃金、なお伸び鈍く
- ・訪日客単月で最高 4月257万人 「コト消費」拡大

05/19・ロシア疑惑世界で同時株安 マネー警戒強める トランプ相場反転 < 4 >

- ・NAFTA (北米自由貿易協定) 再交渉通知 USTR、議会に 8月中にも開始
- ・「共謀罪」法案を可決 衆院委で自公維賛成
- ・米財務長官議会証言 銀行・証券分離「支持せず」 方針転換、緩和に軸

05/20・トランプ氏初外遊 中東・欧州歴訪対テロ探る 揺らぐ足元、指導力演出 < 5 >

サウジ、イスラエル、バチカン (ローマ法王)、ベルギー (NATO首脳会議)

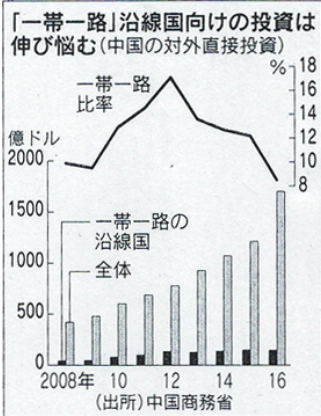
米の「中東重視」瀬踏み 同盟国、長期戦略を注視

- ・NAFTA再交渉へ議会に正式通知 関税引き上げ見送り 現実路線へ転換 < 6 >
現地生産規制が焦点 為替条項新設も
- ・韓国国民87%「文氏に期待」
- ・日経アジア300最高値圏 株価指数、インドや東南アけん引
米利上げ、想定より緩やかなペースに 経常収支赤字縮小も材料
- ・外貨建て社債発行額最高 日本企業昨年度500億ドル 銀行・生保けん引

05/21・イラン大統領 穏健派再選 ロウハニ師、対外融和維持

- ・米、サウジに兵器売却 大統領初外遊 12兆円合意、イランけん制

<1>

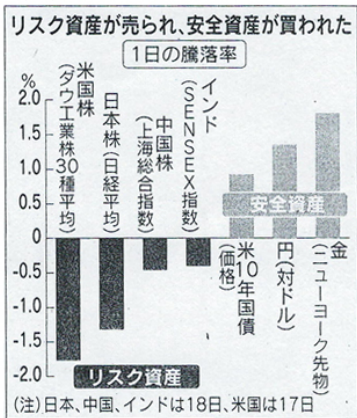


<2>

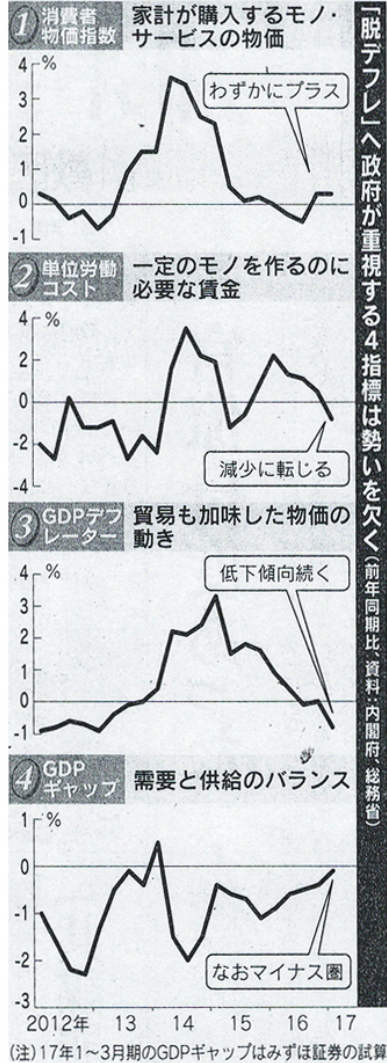
「一帯一路」に関わる火種

中央アジア	「裏庭」と見なすロシアが警戒
中パ経済回廊	パキスタンと領有権を争うインドが反発
ミッドナム(ミャンマー)計画	地元住民が建設に反対
南シナ海やインド洋の港湾建設	日米などが海洋進出を警戒

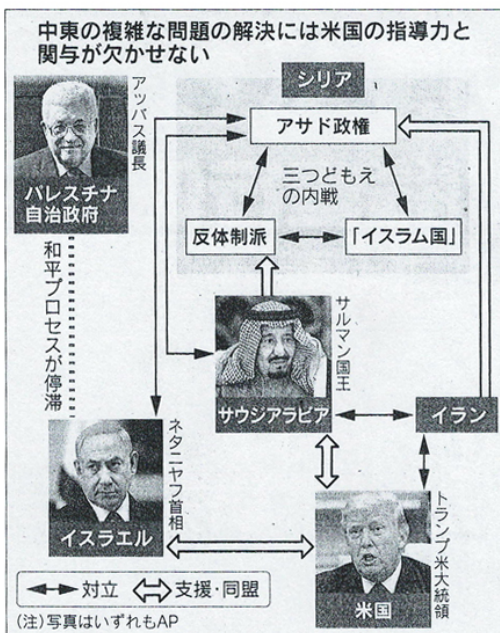
<4>



<3>



<5>



<6>

北米自由貿易協定 (NAFTA)

▽加盟国 カナダ、米国、メキシコ
▽域内人口 約4億8000万人
▽域内総生産 約21兆ドル

米国のNAFTA域内貿易(億ドル)			
	輸出	輸入	貿易収支
▼対カナダ			
1993年	1,004	1,112	▲108
2016年	2,668	2,781	▲112
▼対メキシコ			
1993年	416	399	▲17
2016年	2,310	2,942	▲632

(注)1993年はNAFTA発足前。IMF、米国勢調査局のデータを基に作成